

# すべての先生がタブレット端末を活用して授業ができるようにするための解説資料

## 【FAQ】よくある質問と答え

**Q1:** 1, 2年生を対象にした授業ではどのようにタブレット端末を活用すればよいか？

**Q2:** 特別支援学級の子どもを対象にした授業を行うときにタブレット端末はどのように活用したらよいか？

令和5年5月2日(火)

鹿児島市立星峯西小学校

校長 谷口源太郎

# 【低学年編】

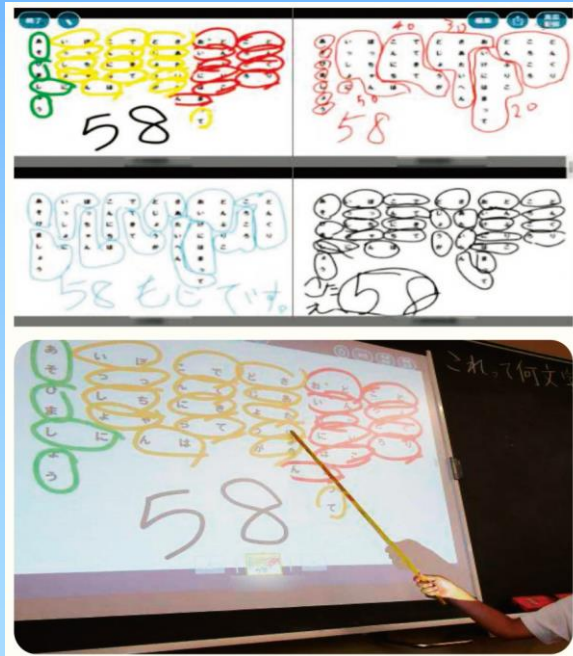
## 【FAQ】よくある質問と答え

**Q1:1, 2年生を対象にした授業ではどのようにタブレット端末を活用すればよいか？**

# 授業におけるタブレット端末活用の場面(例)

文部科学省「情報教育の推進等に関する調査研究」で示されている「情報活用能力の体系表例」です。これは、学習者の情報活用能力を五つのステップに分け、各々でどのようなことが求められているかを体系化したものです。タブレットを本格的に使っていきこうという**低学年は、ステップ1**にあたります。ステップ1でタブレットの操作に求められる技能(以下、タブレット技能)は、次の三つです。

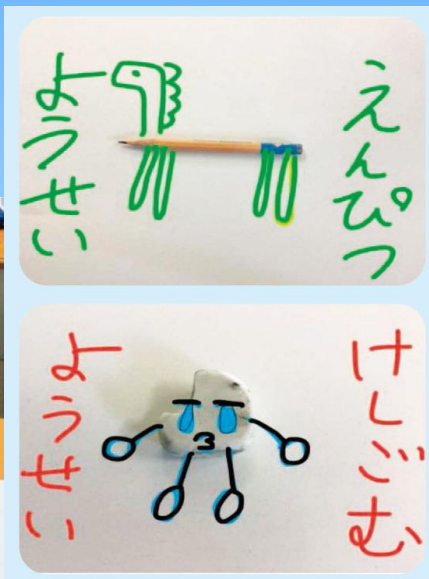
- コンピュータの起動や終了、写真撮影などの基本操作
- 電子ファイルの呼び出しや保存
- 画像編集・ペイント系アプリケーションの操作



# 授業におけるタブレット端末活用場面(例)

文部科学省「**情報教育の推進等に関する調査研究**」で示されている「**情報活用能力の体系表例**」です。これは、学習者の情報活用能力を五つのステップに分け、各々でどのようなことが求められているかを体系化したものです。タブレットを本格的に使っていきこうという**低学年は、ステップ1**にあたります。ステップ1でタブレットの操作に求められる技能(以下、タブレット技能)は、次の三つです。

- コンピュータの起動や終了、写真撮影などの基本操作
- 電子ファイルの呼び出しや保存
- 画像編集・ペイント系アプリケーションの操作



# 1年算数科「ひきざん」(1)

## 第1学年 算数科学習指導案

平成29年6月27日(火) 5校時  
 男子15名 女子12名 計27名  
 指導者 [ ]  
 (学習支援員 [ ])

- 単元 ひきざん(1)
- 本時(5/12)

### (1) 目標

- 減法(求補)の場面を式に表し、答えを求める活動に意欲的に取り組むことができる。
- 10以下の2数の減法の計算をすることができる。

### (2) 本時の展開に当たって

問題場面をしっかりとらえさせるために挿絵を準備する。また、減法であることをしっかりと理解させるために半具体物を操作したり図をかいたりして式や答えを考えさせる活動を設定するようにする。

### 3 実際

過程	主な学習活動	時間(分)	教師の具体的な働きかけ 【評価規準(評価方法)】
つかむ	1 学習課題に出会う。 えんぴつが10ぼんありました。そのうち3ぼんけずりました。けずっていないえんぴつはなんぼんでしょうか。	10	○ 教科書の絵をもとに考えることができるように、挿絵を準備する。 ○ 場面を理解することができるように、問題文を一斉読みし、分かっていることとたずねていることを確認する。
	2 学習問題をつかむ。 けずっていないえんぴつをもとめるには、どんなしきになるだろうか。		○ 学習問題をとらえやすするために、問題文の中の言葉を使ってめあてを立て、ノートに視写させる。
見通す	3 解決の見通しをもつ。 ・絵や図をかく。 ・教え棒やブロックを使って考える。	3	○ 解決の見通しをもつことができるようになるために、図や絵をかかせたり、半具体物を使ったりすることを伝える。
考える	4 自分なりに解決する。 ・10本のえんぴつのうち、3ぼんけずった。けずったえんぴつをひくと、けずっていないえんぴつは7本になるからひき算の式になる。 ・式 $10 - 3$ ・答え 7本	7	○ よりよい方法を選択して、式と答えを導き出せるように助言する。 ※ 進んで操作活動をしたり、既習の考え方をういたりして、式と答えを求めようとしている。(ノート記述)
深める	5 考え方を出し合い、全体で式と答えを確かめる。 ・式 $10 - 3 = 7$ ・答え 7本	15	○ 図をもとに計算のしかたを視覚的にとらえられるようにするために、図と式を結び付けて板書する。
振り返る	7 本時の学習を振り返りまとめる。 けずっていないえんぴつのかずをもとめるときは、ひきざんになる。	5	○ 全児童が本時の学習についてしっかり理解できているか確認するために、一斉の形態で板書し、ノートに書かせる。
生かす	8 適用問題に取り組む。	5	○ 本時のさらなる習熟を図るために、適用問題に取り組ませる。 ※ 減法の計算をしている。(ワークシート)

### 4 評価

- 減法(求補)の場面を式に表し、答えを求める活動に意欲的に取り組むことができたか。
- 10以下の2数の減法の計算をすることができたか。

## 【授業構想案】

### ① A一斉学習(つかむ、見通す)

教師が大型モニター等に学習問題・資料教材等を掲示し、本時のめあてを立てるとともに学習の見通しをもたせる。

### ② B個別学習(調べる、考える)

課題に関する自分の考えをロイロノートの付箋に書き、教師用タブレットに送信する

### ③ C協働学習(深める)

みんなの前で自分の考え(付箋記入)を説明・プレゼンする

### ④ C協働学習(まとめる)

各自の考えについてグループで話し合う。

### ⑤ A一斉学習(振り返る)

話し合ってまとめたことをタブレット端末に記録して大型モニターに掲示して説明する

### ⑥ B個別学習(確かめる、つなぐ)

本時の学習内容を振り返り、確認したり、自己評価したりして記録、保存をする

# 2年国語科「1年生でなら ったかん字」②

- 1 単元 1年生でならったかん字② かん字のひろば  
 2 本時 (2/2)

- (1) 目標  
 ① 絵を見て想像を広げて、既習の漢字を使って文を書く活動に意欲的に取り組むことができる。  
 ② 語と語を適切につないで、既習の漢字を使って文を書くことができる。  
 (2) 本時の展開に当たって  
 1年生で習った漢字を含む語と語を適切につないだ文を作ることができるようにするために、正しい読み方ができているか確認する場を設定したり、短文を作る前に各々の場面に出ている語を使いながら自由にお話作りの活動を設定したりする。

過程	主な学習活動	単 時 (分)	教師の具体的な働きかけ 【評価基準】(評価方法)	○印 ※印
つかむ	1 63ページの絵を見て、学習課題に出会う。 2 学習課題をつかむ。 これまでに習った漢字を使って、絵の中の学校のようなすあらかわす文を書こう。	5	○ 学習課題に気づかせるために、63ページを拡大コピーした絵を見せ、「誰がどんなことをしている場面か」を問いかけるようにする。	
見通す	3 学習の進め方を確認する。 ・ 63ページの漢字の読み方を確かめる。 ・ 絵を見て、それぞれの場面から分かることを発表する。 ・ 絵の中の漢字を使って短文を書く。	5	○ 子どもが解決の見通しをもてるようにするために、「学習の進め方」を提示し、本時の大きな流れと、課題解決の内容と方法、一人学びの具体的な仕方などを教師が説明するようにする。	
考える・調べる	4 63ページの漢字を音読する。 ・ 先生(せんせい) ・ 手(て) ・ 立つ(たつ) 5 それぞれの場面でどのようなことをしているか発表する。 ・ 教室で、算数のひき算の勉強をしています。 ・ 音楽室で、歌を歌っています。 ・ 保健室で、視力検査をしています。	10	○ 既習漢字を想起させるために、絵に出てくる16の言葉を短冊カードに書き、黒板に提示し音読させるとともに、教科書に読み仮名を書かせる。 ※ 1年生で習った漢字を読むことができている。(子どもの様子または教科書) ○ 各場面を視覚的にとらえやすいようにするために、拡大コピーしたさし絵を提示し、さし絵と言葉を対照させて、イメージを膨らませるようにする。 ※ 絵を見て、想像を広げて、文を考えている。(子どもの発言)	
深める	6 それぞれの場面に、教科書に出てくる言葉を使って短文づくりをする。 ・ 女の子は、かだんに赤い花と白い花がさいているのを見つけた。 ・ 男の子が、「93-67」の問題の答えを手をあげて答えました。 ・ 1年生が、正門から出て家へ帰ろうとしています。	20	○ 「は」と「を」を正しく使った文を作ろうにさせるために、絵と言葉が使えるようなプリントを準備する。 ○ 絵に出てきた16の言葉を全て使うように助言する。 ○ 早く終わったら声に出して読ませ、主述の整った文になっているか、「は」と「を」を正しく使っているか確かめさせる。 ※ 語と語を適切につないで、文を書いている。(プリントへの記述)	
振り返る・生かす	7 本時でがんばったことや楽しかったことを発表し、本時の学習をまとめる。 絵の中のかんじをふくんだことばを つかって、文を作ることができた。 8 次の学習を知る。	5	○ 本時の学習を振り返り、絵の中のかんじを含む言葉を使って上手に文を作ることができたことや楽しくお話を作ることができたことなどを発表させるようにする。 ○ 書いた文を短冊カードに書いて、発表することを知らせ、意欲をもたせる。	

## 【授業構想案】

- ① **A一斉学習 (つかむ、見通す)**  
 教師が大型モニター等に学習問題・資料教材等を掲示し、本時のめあてを立てるとともに学習の見通しをもたせる。
- ② **B個別学習 (調べる、考える)**  
 課題に関する自分の考えをロイロノートの付箋に書き、教師用タブレットに送信する
- ③ **C協働学習 (深める)**  
 みんなの前で自分の考え(付箋記入)を説明・プレゼンする
- ④ **C協働学習 (まとめる)**  
 各自の考えについてグループで話し合う。
- ⑤ **A一斉学習 (振り返る)**  
 話し合ってまとめたことをタブレット端末に記録して大型モニターに掲示して説明する
- ⑥ **B個別学習 (確かめる、つなぐ)**  
 本時の学習内容を振り返り、確認したり、自己評価したりして記録、保存をする

- 4 評価  
 ① 絵を見て想像を広げて、既習の漢字を使って文を書く活動に意欲的に取り組むことができたか。  
 ② 語と語を適切につないで、既習の漢字を使って文を書くことができたか。

# 【特別支援学級編】

## 【FAQ】よくある質問と答え

**Q2:** 特別支援学級の子どもを対象にした授業を行うときにタブレット端末はどのように活用したらよいか？

# 授業におけるタブレット端末活用の場面(例)



障害特性や発達段階等に応じてICT機器を活用することが基本

- 読むが苦手→聞く
- 書くが苦手→入力する
- 意思を使えるのが苦手→カードと音声で伝える
- 話を聞くのが苦手→映像と文字で見る



# 授業におけるタブレット端末活用の場面(例)

## 個別での活用

### 個別の学習を支援するための手段として使う



子供に応じたICTを選択することで、学習を効率的に進めることができます。

代表例

- 実践事例① 遠足の事前学習をしよう
- 実践事例② ビデオ機能を使って振り返ろう

### 困難さを支援するための手段として使う



子供の困難さを減らすツールの一つとして、ICTが期待されています。

代表例

- 実践事例③ 時間の見通しを立てよう
- 実践事例④ 辞書を使って漢字を調べよう

### 学習の意欲を高めるための手段として使う



ICTを上手く活用することで、子供達の意欲を高めることができます。

代表例

- 実践事例⑤ 声が出る絵本を作ろう
- 実践事例⑥ 漢字を書こう

## 小集団での活用

### プレゼンテーションを支援するための手段として使う



ICTをつかうことで、活動の振り返りや、情報の整理などができます。

代表例

- 実践事例⑧ 身の回りのものについてプレゼンテーションをしよう

### 小集団での活動の手段として使う



子供に応じてICTを組み合わせることにより、集団活動の可能性が広がります。

代表例

- 実践事例⑨ 動物園の思い出を新聞で残そう
- 実践事例⑩ パネルシアターを上映しよう

### 集団全体の意欲を高めるための手段として使う



ICTを使うことで、喜びや達成感、他の子供達と一緒に味わえます。

代表例

- 実践事例⑪ かずを数えよう

【特別支援学級で、タブレット学習が注目されている理由】

- 1 特別支援学級のニーズが高まっているから
- 2 GIGAスクール構想の目標は「教育の格差をなくすこと」だから
- 3 タブレットは児童・生徒一人ひとりに合わせた対応が可能だから
- 4 特別支援教育の指導要綱にタブレットの活用が盛り込まれているから

※実践事例は、第2章に掲載しています。

## •特別支援学級での使用事例と活用のポイント：

- 視覚障害の支援
- 聴覚障害の支援
- 発達障害の支援

## •タブレット学習で、特別支援学級の生徒を支援するアイデア：

- タブレットの標準機能で、支援する
- タブレットのソフトを駆使して、支援する

支援教材ポータル(国立特別支援教育研究所)

<http://kyozai.nise.go.jp/>

障害に応じた実践事例を探すことができます

# 特別支援学級(知的)3年国語科 「かたかなでなまえをかこう」

- 1 単元 かたかなでなまえをかこう  
2 本時 (2/3)

(1) 目標

- さいころゲームやパーツごとに組み合わせて片仮名を完成させるなどの操作活動を通して、意欲的に取り組むことができる。
- 片仮名をパーツごとに組み合わせる活動を通して、マスのどの部分に書けばよいか気付くことができる。

(2) 本時の展開にあたって

片仮名をスムーズに読むことができるようにするために、名前に出てくるサ・タ行のさいころゲームを最初にやってみる。読みを確認できるようにする。マスの空間を捉えさせることができるようにするために、マスは4色にブロック分けしたり、パーツごとに組み合わせる活動をしたりして、文字のどのパーツがどれくらいマスを占めるのか理解できるようにする。

3 実際

過程	主な学習活動	時間(分)	教師の具体的な働きかけ 【評価規準(評価方法)】
つかむ・見通す	1 さいころゲームをする。 2 前時の学習を振り返る。 3 活動とめあての確認をする。  「そうた」をかたかなでかこう。	15	○ 「そうた」の文字がスムーズに読めるようにするために、さいころで出てきた文字を名前と関連付けて読ませる。 ○ 学習への見通しを持たせるとともに、本時のめあてと学習への流れを明確にできるようにするために、学習の流れを視覚的に提示する。
考える・深める	4 いろいろな活動を通して「ソウタ」の字形を覚える。 (1)「ソ」と「タ」の筆順を確認する。 (2)一画ごとにばらしたパーツを組み合わせて文字を完成する。 (3)書く練習をする。 ・指書き ・空書き ・なぞり書き ・写し書き など	27	○ 学習の流れをより理解できるようにするために、前時で学習した「ウ」をパーツごとに組み合わせさせる。 ○ 筆順がよく分かるようにするために、一画ごとに色分けしてお手本を書くようにする。 ○ パーツをマスのどこに置けばよいかよく分かるようにするために、4色にブロック分けしたマスを使わせるようにする。 ○ 正しい形についてあるが確認させるために、ブロックごとに注目させるようにする。 ○ 字形をしっかり覚えることができるようにするために、いろいろな書き方で書かせてみる。 ※ 教師の助けを受けながら、書く位置に気を付けて片仮名を書くようにする。(行動観察)
振り返る	5 本時の学習をまとめる。 「そうた」をかたかなでかくことができた。 6 学習を振り返る。	3	○ 児童が書いた文字と一緒に見て、上手に書けたか確かめる。 ○ それぞれの文字をマスのどの部分に書いたらよいか確かめ、児童の良かったところを賞賛する。

4 評価

- さいころゲームやパーツごとに組み合わせて片仮名を完成させるなどの操作活動を通して、意欲的に取り組むことができたか。
- 片仮名をパーツごとに組み合わせる活動を通して、マスのどの部分に書けばよいか気付くことができたか。

## 【授業構想案】

### ① A一斉学習（つかむ、見通す）

教師が大型モニター等に学習問題・資料教材等を掲示し、本時のめあてを立てるとともに学習の見通しをもたせる。

### ② B個別学習（調べる、考える）

課題に関する自分の考えをロイロノートの付箋に書き、教師用タブレットに送信する

### ③ C協働学習（深める）

みんなの前で自分の考え（付箋記入）を説明・プレゼンする

### ④ C協働学習（まとめる）

各自の考えについてグループで話し合う。

### ⑤ A一斉学習（振り返る）

話し合っってまとめたことをタブレット端末に記録して大型モニターに掲示して説明する

### ⑥ B個別学習（確かめる、つなぐ）

本時の学習内容を振り返り、確認したり、自己評価したりして記録、保存をする

平成29年6月27日(火)5校時  
女子1名 男子0名 計1名  
指導者 〇〇〇〇

- 1 単元 ジュースをかおう
- 2 本時 (1/4)

(1) 目標

- ① 自動販売機でジュースを買う際の硬貨の出し方を考えたり、操作を行ったりする活動に意欲的に取り組むことができる。
  - ② 4種類の硬貨(500円, 100円, 50円, 10円)を組み合わせて、複数のパターンでジュースの代金を支払うことができる。
- (2) 本時の展開に当たって
- 子どもが各硬貨間の等価を理解し、様々な硬貨の組み合わせで代金の支払いができるようにするために、イラスト入りのワークシートを使って複数パターンの支払い方を調べさせたり、実際におもちゃの硬貨を操作させたりする。また、本時の学習の成果を実感できるようにするために、iPadアプリ「自動販売機」を使い、お金を支払ってジュースを買う疑似体験ができるようにする。

3 実際

時	主な学習活動	時 (分)	教師の具体的な働きかけ 【評価規準(評価方法)】 ※印
つかむ	1 学習課題に出会う。	7	○ 本単元の学習に意欲的に活動に臨めるようにするために、校区内の自販機でジュースを買う場面の動画を見せるようにする。
	2 学習課題をつかむ。 ジュースをかおうときのおかねのだし方はどうすればいいか。		○ 本時のめあてへ焦点化できるようにするために、買い物を経験について振り返るようにする。 ※ 自分1人で好きなジュースを買う活動に興味関心を抱いている。(行動観察、発言等)
見通す	3 解決の見通しをもつ。 (1) お金の種類を思い出す。 (2) お金の出し方を考える。 (3) アプリを使って練習する。 (4) 本時の学習を振り返る。	5	○ 本単元の学習や本時の学習に見通しをもって臨むことができるようにするために、学習計画表や本時の学習の順番を提示し、子どもと一緒に確認できるようにする。
	4 4種類の硬貨(500円, 100円, 50円, 10円)の言い方や大小関係を確認する。		○ 本時の学習に自信をもって臨めるようにするために、絵カードを使って既習事項である硬貨の種類や大小関係を確認できるようにする。
考える	5 自販機でジュースを買う際の硬貨の出し方について、複数パターンを調べる。	15	○ 複数パターンの支払い方を自力解決できるようにするために、イラスト入りのワークシートを使って、調べさせるようにする。 ○ 各硬貨間の等価を理解できるようにするために、ヒントカードを提示するようにする。 ※ 意欲的に硬貨の出し方を考えている。(行動観察、発言) ※ 4種類の硬貨を組み合わせて、複数のパターンで支払っている。(ワークシート)
	6 iPadアプリ「自動販売機」を使い、硬貨を出してジュースを買う疑似体験をする。		8
振り返る	7 本時の学習についてまとめる。 しなもののねだんにあわせておかねをくみあわせてはらえばいい。	5	○ 本時の学習の達成感を味わったり、次時の学習への意欲をさらに高めたりできるようにするために、自己評価をさせたり、良かったところを賞賛したりするようにする。
生かす	8 次時の学習について話し合う。	5	○ 次時の学習に見通しが持てるようにするために、本時で支払った代金にはお釣りが出るものがあることをiPadを使って示すようにする。

4 評価

- ① 自動販売機でジュースを買う動画を見ることで、一人でジュースを買う意識を高め、意欲的に硬貨の出し方を考えたり、操作を行ったりすることができたか。
- ② 4種類の硬貨(500円, 100円, 50円, 10円)を組み合わせて、複数のパターンでジュースの代金を支払うことができたか。

# 特別支援学級(情緒)

## 5年算数科「ジュースをかおう」

### 【授業構想案】

#### ① A一斉学習 (つかむ、見通す)

教師が大型モニター等に学習問題・資料教材等を掲示し、本時のめあてを立てるとともに学習の見通しをもたせる。

#### ② B個別学習 (調べる、考える)

課題に関する自分の考えをロイロノートの付箋に書き、教師用タブレットに送信する

#### ③ C協働学習 (深める)

みんなの前で自分の考え(付箋記入)を説明・プレゼンする

#### ④ C協働学習 (まとめる)

各自の考えについてグループで話し合う。

#### ⑤ A一斉学習 (振り返る)

話し合っただけをまとめたことをタブレット端末に記録して大型モニターに掲示して説明する

#### ⑥ B個別学習 (確かめる、つなぐ)

本時の学習内容を振り返り、確認したり、自己評価したりして記録、保存をする

終